

長良川河口堰30年シンポジウム

～流域総合水管理から世界流域遺産（仮称）へ～

日時

令和8年3月15日（日）

10:00～17:00（開場 9:30）

会場

ウィルあいち 3階 大会議室

（名古屋市東区上堅杉町1番地）

地下鉄名城線 名古屋城駅 2番出口より東へ徒歩8分

名鉄瀬戸線 東大手駅 南へ徒歩6分



プログラム

10:00～10:05 開会挨拶 大村 秀章 愛知県知事

10:05～12:00 韓国ナクトンガンの事例

ナクトンガン河口における汽水生態系の回復（現状と主要課題）

K-water釜山地域事務所 河口統合運用部長 パク・ビョンウ 氏

ナクトンガン河口の帰還（ナクトンガン河口汽水生態系の復元と河口開放の歩み）

釜山広域市 河川管理課課長補佐 パク・ジヨン氏

ナクトンガン河口堰の開門と市民団体の社会的活動

洛東江河口汽水生態系復元協議会 共同代表 イ・ジュンギョン 氏

13:00～14:00 健全な水循環・流域総合水管理

健全な水循環・流域総合水管理

東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 蔵治 光一郎 氏

長良川河口堰運用30年の実績と今後

（独）水資源機構 揖斐川・長良川総合管理所 所長 荒川 敏之 氏

14:10～15:10 環境、生態系、漁業資源

長良川・伊勢湾の生態系の現状と課題

大阪公立大学 国際基幹教育機構 客員研究員 竹門 康弘 氏

木曾三川水系の生態系の現状と課題：流域総合水管理から“世界流域遺産”に向けて

岐阜協立大学 地域創生研究所所長 特任教授 森 誠一 氏

15:25～16:55 意見交換

テーマ① 日本と韓国の水循環基本法と水循環政策

テーマ② 河川と海の境界環境としての汽水・感潮域

16:55～17:00 閉会挨拶 チャ・ウンギ 駐名古屋大韓民国副総領事

総合司会 小島 敏郎 氏

主催：愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会

後援：環境省、愛知県、駐名古屋大韓民国総領事館

出演者プロフィール

パク・ビョンウ 氏

K-water釜山地域事務所
河口統合運用部長

釜慶大学卒業、釜山国立大学土木工学修士・博士候補。2024年から慶尚南道貯水池・ダム安全管理委員会、釜山広域市水産業振興委員会（第3期）の委員を務める。受賞歴：公共水質管理功労賞（2025年）、四大河川再生プロジェクト功労賞（2011年）など。

パク・ジヨン 氏

釜山広域市
河川管理課課長補佐

洛東江河口堰の運用・開通、河口生態系の回復に関わる業務を担当。段階的かつ適応的な堰堤運用を通じて汽水環境を回復すること、洪水対策、塩水遡上防止、水質管理、生態系の回復を図ることに重点を置いている。

イ・ジュンギョン 氏

洛東江河口汽水生態系
復元協議会 共同代表

韓国・釜山で活動する市民団体。長年にわたりナクトンガン河口堰の開放と、河口の自然再生を推進し、行政・市民・専門家と協働して生態系復元と持続可能な水環境づくりに取り組んでいる。地域の未来を守るため、対話と実践を重ねている。

蔵治 光一郎 氏

東京大学大学院
農学生命科学研究科 教授

1989年東京大学農学部林学科卒。専門は森と水の科学、森と水と人の関係。2003～16年に愛知県瀬戸市の東京大学演習林生態水文学研究所に勤務。著書に『緑のダムの科学－減災・森林・水循環』『森の「恵み」は幻想か－科学者が考える森と人との関係』など。

荒川 敏之 氏

（独）水資源機構 揖斐川・
長良川総合管理所 所長

長良川河口堰の施設管理者。塩水が侵入しない範囲内で、一時的に堰からの流量を増大させる「フラッシュ操作」を実施し、堰上流の水質保全を図っている。また、その効果をモニタリング調査し、学識者の意見を聴き、より効果的なフラッシュ操作方法を検討している。

竹門 康弘 氏

大阪公立大学
国際基幹教育機構 客員研究員

理学博士（京都大学）。専門は水生昆虫・河川生態学。日本生態学会自然保護専門委員会委員、淀川水系流域委員会副委員長、賀茂川漁業協同組合理事、京の川の恵みを活かす会代表。著書に『棲み場所の生態学』『流砂環境再生』など。趣味は磯釣り、山菜採り、珈琲焙煎。

森 誠一 氏

岐阜協立大学
地域創生研究所所長 特任教授

理学博士（京都大学）。専門は魚類生態。日本魚類学会自然保護委員長や国交省河川整備基本方針小委員会、木曽川水系流域委員会、岐阜県長良川河口堰調査検討会などの委員を歴任。著書に『河川ダイナミクスの生態学』、『ナマズの博覧誌』（秋篠宮文仁親王と共編）など。

申 込

定員 150名（先着順）
申込期限 3月6日(金) 17:00まで
申込方法 Microsoft Forms（QRコード）
FAX（下記申込書）
参加費 無料



<https://forms.office.com/r/qDwe1eccfX?origin=lprLink>

参加申込書

FAX : 052-961-3293

参加区分： 1 一般参加者 2 報道関係者 2 の場合、所属（ ）

（ふりがな） 氏名： 性別： 男・女 年齢区分： 歳代

電話番号：

住所： 都道府県 市町村 メールアドレス：

職業： 1 会社員 2 経営者・役員 3 公務員 4 自営業 5 専門職（医師・弁護士・税理士など）
6 教職員（学校・教育機関） 7 学生 8 パート・アルバイト 9 主婦・主夫 10 その他（ ）

※選択肢のあるものは、該当する番号に○を付けてください。

※ご記入いただいた個人情報は、シンポジウムに関する用途以外には利用しません。

※当日参加も可能ですが、定員を超えた場合は入場をお断りすることがあります。

※駐車場は台数制限があります（有料）。公共交通機関でのご来場にご協力ください。

【お問合せ】愛知県建設局水資源課 TEL : 052-954-6121 MAIL : mizushigen@pref.aichi.lg.jp